



No.5 1
 2023年3月31日
 谷本地区
 社会福祉協議会
 発行人 矢野宣子

「お元気ですか！」は、谷本地区連合の皆様への情報をお知らせする広報紙です。

高齢者はねらわれています！

「地域の消費者被害未然防止出前講座」が
 1月25日（水）藤が丘地区センターで行われました



民生委員とボランティアの会の共催で行われ30名が参加し、消費生活アドバイザー荒木克成さんよりお話を聞きました。

まず最初に日本の超高齢化の現状の説明があり、横浜市では65歳以上の市民が3割を占めており高齢者はあらゆる詐欺商法に狙われています。それを防ぐには地域での見守り、連携が大切であることから、様々な詐欺商法の手口や消費者被害に気付くポイントなどを学びました。

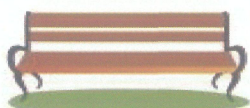
“高齢者の意思を尊重する上手な声掛け”についても実際に声を出して練習する貴重な体験をし、地域の見守りネットワークの一員としてより知識が深まる有意義な講座でした。（関根）



電話は留守電設定にしておくこと
 知らない電話で余計なことを話さない

《 谷本地区社会福祉協議会活動の報告 》

- ① 令和3年度「第4期青葉区地域福祉保健計画」の目標にもあるように、優しい街づくりの一環として、“ちょっとひと休みできる「みんなのいす」”の設置をしました。
- ② 令和4年度は「第5期青葉区地域福祉保健計画」を見据え、改めて「地区社協の活動とは～」について研修会を行いました。区社協小野事務局長に地区社協について詳しくレクチャーをしていただき、認識を新たにする有意義な研修になりました。9月、11月の定例会議では他地区の事例を参考にして、グループワーク形式で話し合いをし、今後の方向性などについていろいろ提案いただきました。（例えば、住民へのアンケート実施など）
- ③ 令和5年度はこれらの話し合いを基にさらに充実した地区社協の活動を目指していきます。今後共皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。



谷本地区社会福祉協議会会長 矢野宣子

困ったときは迷わず相談
 横浜市消費生活総合
 センターへ
 相談専用電話
 045-845-6666

「みんなのいす」になりました。



地区内3か所にあります。ちょっとひと休みにご利用ください。





谷 本 地 区 の 行 事

藤が丘地区センターまつり
11/20 藤が丘地区センター



三年ぶりの開催となりました。地区社協ではボランティアの会・給食の会によるバザーが開かれ、入場制限を行うほど盛況でした。売り上げ113320円は、地区社協の活動費として有効に使わせていただきます。。

藤嶺会（藤が丘2B）
11/9 日帰りバス旅行



参加者34名。清水港クルーズ・日本平・みかん狩りなど盛り沢山の観光と、清水港での海鮮ランチと買い物で一日を目一杯楽しみました。



獅子舞
1/3 杉山神社

新年を祝う獅子舞とひょっとこが杉山神社の氏子の家々をまわりました。



書初め大会
1/7 藤が丘小学校

65名の子供たちが体育館で一斉に書初めをしました。



千草台防災訓練
2/19



子供から高齢者まで150名が参加しました。今回は、いつもの訓練に加えて、「車椅子体験をして、災害時には救急搬送に活かす」というテーマで参加者が交互に車椅子に乗る側、車椅子を押す側となって普段なかなかできない体験をしました。

梅が丘防災訓練
1/15



狙いを定めて消火器を噴射!

訓練参加者は200名。起震車の体験、訓練用消火器を使っての消火訓練、大釜での炊き出しを実際に行いました。訓練参加の住民にご飯とけんちん汁の試食も配りました。

防災拠点の緑が丘中学校体育館にて、地区社協ボランティアの会の支援で行われました。



この大釜で一度に46キロのお米がたけます。同じ大きさの釜を使い、同時進行でけんちん汁も作りました。



起震車では震度7を体験！とても立ってはいただけませんでした。

次号52号では、「あおば支援学校」の記事を掲載する予定です。

- 広報部長 豊崎智子(梅が丘)
- 同 飯田恵子(藤が丘一丁目)
- 同 吉濱竜代子(千草台)
- 同 関根淳子(藤が丘2A)
- 同 服部正 (藤が丘2B)



【編集後記】
新しい年になり、5月からコロナも2類から5類へ変更になります。行動制限もなくなりマスクも個人判断、長い3年間でしたね。まだまだコロナの不安は残りますが、今年は花粉の飛散も例年より多くマスクははずせそうにもありません。
(飯田)